

2012年10月2日

各位

会社名 ライフネット生命保険株式会社
 代表者名 代表取締役社長 出口 治明
 (証券コード:7157 東証マザーズ)

ライフネット生命保険、医療費負担連動タイプの医療保険 「じぶんへの保険プラス(がん・先進医療保障付き)」を本日発売

他商品と同様に発売と同時に付加保険料率を全面開示し、情報公開を徹底

ライフネット生命保険株式会社 (URL:<http://www.lifenet-seimei.co.jp/> 本社:東京都千代田区、代表取締役社長:出口治明、以下「ライフネット生命」)は、医療費負担連動タイプの新しい医療保険「じぶんへの保険プラス(がん・先進医療保障付き)」を、本日10月2日より販売開始しました。

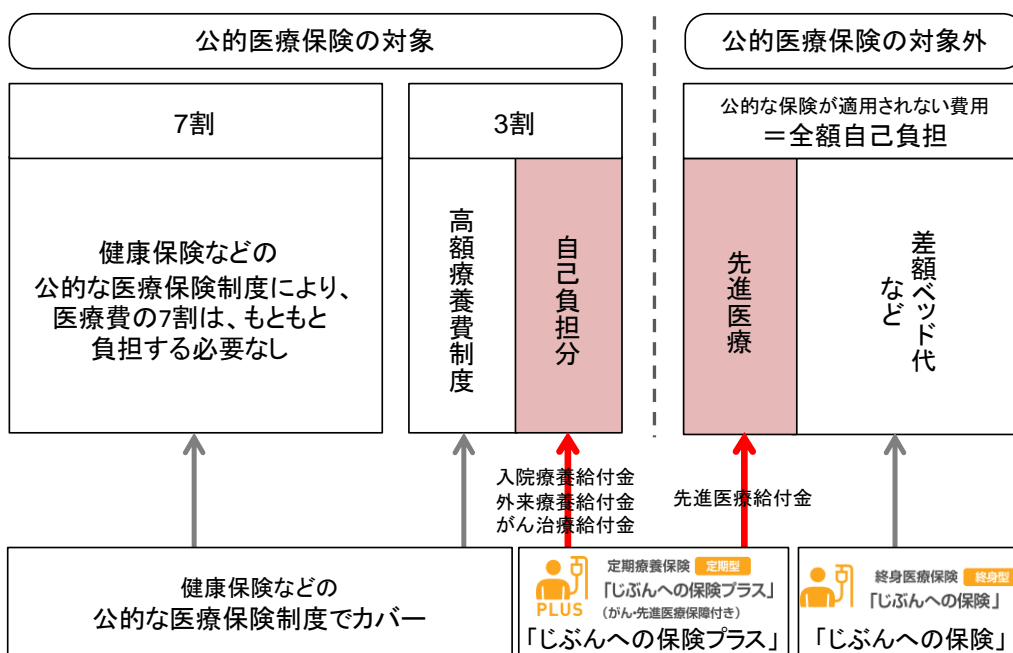


定期療養保険 **定期型**
「じぶんへの保険プラス」
 (がん・先進医療保障付き)

「じぶんへの保険プラス」は、公的医療保険における医療費の自己負担分に連動※して給付金を支払う新しいタイプの医療保険です。この保険により、加入者は医療費の自己負担分を軽減することができます。また、がんや先進医療に対する保障も付加しているため、医療費に対する幅広いニーズに対応できます。当商品は、本日以降、当社 PC サイト、携帯サイト、スマートフォンサイトから 24 時間いつでも保険料のお見積り、お申し込みが可能です。

※給付金額は、公的医療保険における医療費の自己負担分と完全に一致するものではありません。

■ 公的医療保険の対象範囲と当社医療保険商品の位置づけ(イメージ※)



※高額療養費制度が適用される場合(70歳未満の成人)を前提としたもの

ライフネット生命保険株式会社

■「じぶんへの保険プラス(がん・先進医療保障付き)」の特長

- ✓ **入院日数、入院・通院に関わらず**、公的医療保険制度の自己負担分をカバー
- ✓ さらに、通常の入院・通院に加えて、「**がん**」「**先進医療**」にも対応
(「がん」: 診断一時金100万円+継続治療1年ごとに100万円、「先進医療」: 技術料同額)
- ✓ 若い世代の保険料を安く抑えるために、**10年定期タイプ**を採用
- ✓ インターネット販売ならではの**お手頃な保険料**を実現
(例: 30歳男性の月額保険料は1,499円、30歳女性は2,207円)
- ✓ **PCでも、携帯でも、スマホでも**。申し込みは**インターネットで24時間いつでも受け付け**

- 商品情報 <http://www.lifenet-seimei.co.jp/product/medical/medicalcare.html>
- ご契約のしおり http://www.lifenet-seimei.co.jp/shared/pdf/LIFENET_leaflet_201210.pdf
- 商品約款 http://www.lifenet-seimei.co.jp/shared/pdf/LIFENET_policy_201210_0100.pdf

■当社が「じぶんへの保険プラス」を開発した背景

ライフネット生命は、「わかりやすく、安くて便利な保険商品・サービスを提供する」という理念を掲げ、医療保険分野では、特約の一切ないシンプルでわかりやすい保障内容が特長の終身医療保険「じぶんへの保険」の販売を、2008年5月の開業以来続けてまいりました。

一方で、わが国の医療は大きく変化しています。入院日数が短期化する一方で入院費用(1日あたりの自己負担費用)は高額化が進むとともに、今や国民病ともいえるがんの治療も入院から通院へとシフトが進んでいます。結果として、民間医療保険において主流である「**入院日数に連動**」し、「**1回の入院の支払限度日数が60日・180日など**」の「**終身タイプ**」の医療保険では、医療の現状と給付内容がマッチしていないケースも出てきています。

わたしたちは、医療を取り巻く環境が大きく変化する中では、民間医療保険も変化が必要であると考えます。「今後の民間医療保険のあるべき姿」をライフネット生命が考え抜いた結果、「**入院日数にかかわらず医療費負担に連動**」し、「**がんや先進医療に対する保障**」を備えた「**定期タイプ**」の医療保険を開発するに至りました。

なお、本商品を開発した背景の詳細については、添付の【参考資料: 当社が考える、わが国の医療と民間医療保険の現状】をご覧ください。

表: わが国の医療の現状と民間医療保険のスペック

医療の現状	主流の民間医療保険	「じぶんへの保険プラス」  定期療養保険 定期型 「じぶんへの保険プラス」 (がん・先進医療保障付き)
① 入院日数の短期化と入院費用の高額化	入院日数に連動した給付金	入院日数にかかわらず 医療費負担に連動した給付金
② 一定確率で発生する長期入院	1回の入院の支払限度日数あり (60日・180日など)	
③ 入院から通院へシフトするがん治療	入院日数・通院日数 に連動した給付金	がんの診断時の一時金 +がん継続治療時の一時金 +入院日数にかかわらず 医療費負担に連動した給付金
④ 満70歳以上の高齢者に 手厚い公的医療保険制度	終身タイプ	定期タイプ (10年定期/70歳まで更新可)

■販売開始に合わせ、保険料見積りページをリニューアル

今回の販売開始に合わせ、PCサイト、携帯サイト、スマートフォンサイトの保険料見積りページを全面リニューアルしました。いずれの端末においても、ご希望の商品、保険プランを選択いただくだけで、簡単に保険料のシミュレーションが可能です。

●PCサイト



The screenshot shows the PC version of the insurance quote page. At the top, there's a header with the LIFENET logo and contact information (0120-205566). Below that, a navigation bar includes 'ライフネット生命のヒミツ', '保険商品のご案内', 'あなたにぴったりのプラン選び', '生命保険のキホン', and '会社情報'. The main content area is titled '保険料見積り' and features a form for entering personal details like age (30), gender (male), and birth date (1982). It lists four insurance options: 'かぞくへの保険' (Family Protection), 'じぶんへの保険' (Personal Protection), 'じぶんへの保険 PLUS' (Personal Protection PLUS), and '働く人への保険' (Working People Protection). Each option shows its monthly premium. A summary box at the bottom indicates a total monthly premium of 6,434 yen. There are also sections for '資料請求' (Request for materials), '保険選びおすすめコンテンツ' (Recommended content), and '疑問を解消!よくあるご質問(FAQ)' (FAQ).

●スマートフォンサイト

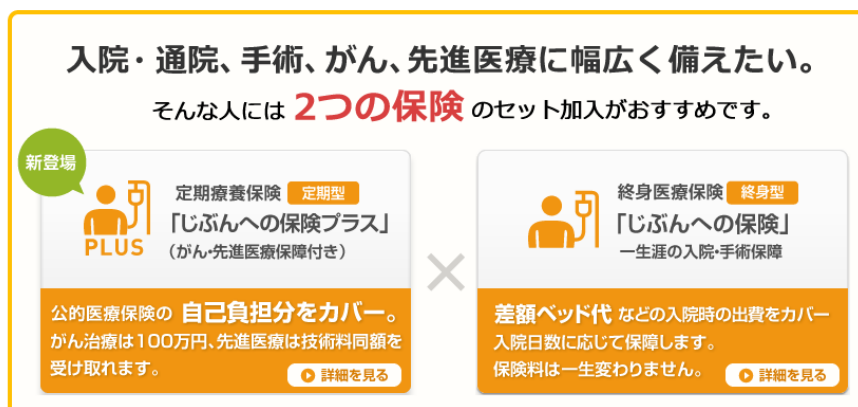


The screenshot shows the smartphone version of the insurance quote page. It has a clean, vertical layout. At the top, there's a header with the LIFENET logo and a title '< 保険料見積り >'. Below that, there's a section for '被保険者の性別' (Insured person's gender) with radio buttons for '男性' (Male) and '女性' (Female). This is followed by '被保険者の生年月日(西暦)' (Insured person's birth date) with dropdown menus for year (1981), month (1), and day (1). A section for '保険商品の選択' (Insurance product selection) lists several options with checkboxes: 'かぞくへの保険' (checked), '終身医療保険 じぶんへの保険' (checked), '定期療養保険 じぶんへの保険 PLUS (がん・先進医療保障付き)' (checked), and '就業不能保険 働く人への保険' (checked). At the bottom, there's a '次へ (プラン選択)' (Next) button.

■終身医療保険「じぶんへの保険」との組み合わせで充実した保障が可能

今後、当社は、公的医療保険における医療費の自己負担分および先進医療に係る技術料をカバーする医療保険として「じぶんへの保険プラス」(定期型)を、差額ベッド代など公的医療保険が適用されない入院時の出費をカバーする医療保険として「じぶんへの保険」(終身型)を位置づけ、今回リニューアルした保険料見積りページを中心に、新しい医療保険の入り方を提案してまいります。

●新しい医療保険の入り方を提案する商品紹介ページ(PCサイト)



The screenshot shows a new introduction page for medical insurance. It features a large heading '入院・通院、手術、がん、先進医療に幅広く備えたい。' (I want to be well-prepared for hospitalization, treatment, surgery, cancer, and advanced medical care). Below this, it says 'そんな人には 2つの保険 のセット加入がおすすめです。' (For such people, joining two types of insurance is recommended). The page is divided into two main sections. The left section, titled '新登場' (New arrival), shows '定期療養保険 定期型 「じぶんへの保険 PLUS」 (がん・先進医療保障付き)' (Regular medical care insurance, regular type, 'Personal Protection PLUS' with cancer and advanced medical care coverage). It states '公的医療保険の 自己負担分をカバー。がん治療は100万円、先進医療は技術料同額を受け取れます。' (Cover self-payment of public medical insurance. Cancer treatment is 100 million yen, advanced medical care is technical fee amount). The right section shows '終身医療保険 終身型 「じぶんへの保険」 一生涯の入院・手術保障' (Lifetime medical care insurance, lifetime type, 'Personal Protection' for lifetime hospitalization and surgery coverage). It states '差額ベッド代 などの入院時の出費をカバー 入院日数に応じて保障します。 保険料は一生変わりません。' (Cover differential bed fee etc. hospitalization expenses, coverage according to hospitalization days, premium never changes). Both sections have '詳細を見る' (View details) buttons.

■発売と同時に付加保険料率を全面開示し、情報公開を徹底

当社では、「情報開示を徹底することが、お客さまに信頼いただくサービス提供の基本である」という考えにもとづき、保険料のうち生命保険会社の運営経費にあたる付加保険料の割合（付加保険料率）を、全面的に開示しています。今回の新商品につきましても、本日の販売開始と同時に、付加保険料率を全面公開します。

当社が新たに発売する定期療養保険「じぶんへの保険プラス」の付加保険料は、次の3つの合計額となっています。（算出方法は、既に販売している3商品においても同様です。）

- 契約1件あたり250円（月あたり）
- （営業）保険料（月額250円の定額部分控除後）の15%
- 予定支払保険金・給付金の3%

定期療養保険「じぶんへの保険プラス」の具体的な付加保険料については、次の表のとおりとなっています。

（単位：円）

男性	月額保険料			
		純保険料	付加保険料	付加保険料率
20歳	1,197	782	415	35%
30歳	1,499	1,031	468	31%
40歳	2,508	1,864	644	26%
50歳	4,855	3,801	1,054	22%
60歳	9,627	7,739	1,888	20%

（単位：円）

女性	月額保険料			
		純保険料	付加保険料	付加保険料率
20歳	1,473	1,009	464	32%
30歳	2,207	1,615	592	27%
40歳	3,371	2,576	795	24%
50歳	4,790	3,747	1,043	22%
60歳	6,772	5,383	1,389	21%

なお、すでに販売をしている、定期死亡保険「かぞくへの保険」、終身医療保険「じぶんへの保険」、就業不能保険「働く人への保険」の付加保険料につきましても、以下のURLにてご確認いただけます。

http://www.lifenet-seimei.co.jp/shared/pdf/insurance_table.pdf

■給付金の受け取りイメージ

【ケース1】急性虫垂炎(盲腸)での入院

「じぶんへの保険プラス」に加入中の専業主婦Aさん(健康保険加入)は、虫垂炎のため7日間(同月中)入院し、入院中に手術を1度受けました。

治療内容	患者の自己負担額	「じぶんへの保険プラス」の給付内容
入院中の診療報酬点数が 26,291 点	78,873 円 ※入院中の保険適用の費用は総額 262,910 円(診療報酬点数 26,291 点×10 円)。自己負担割合が 3 割のため、公的医療保険が適用されたあとの自己負担額は 78,873 円	78,873 円(入院療養給付金) ※診療報酬点数×3 円で計算すると、 26,291 点×3 円=78,873 円
	自己負担額合計 78,873 円	受け取り額合計 78,873 円

【ケース2】大腸がんでの入院

「じぶんへの保険プラス」に加入中の会社員Bさん(健康保険加入、所得区分「一般」)は、健康診断をきっかけに大腸がん(非進行がん)と診断され、入院。入院中に手術を受け、15日間(同月中)を経て退院しました。

治療内容	患者の自己負担額	「じぶんへの保険プラス」の給付内容
入院中の診療報酬点数が 128,288 点	90,259 円 ※入院中の保険適用の費用は総額 1,282,880 円(診療報酬点数 128,288 点×10 円)。自己負担割合が 3 割のため、公的医療保険が適用されたあとの自己負担額は 384,864 円。さらに、高額療養費(所得区分「一般」)が適用されるため、B さんの最終的な自己負担額は 90,259 円	100,000 円(入院療養給付金) ※診療報酬点数×3 円で計算すると、 128,288 点×3 円=384,864 円。ただし、1 ヶ月(初日～末日まで)の支払い限度額は 10 万円
はじめて、がん(悪性新生物)と診断	0 円 ※治療以外にも、通院の交通費、遠方の方が通院治療を受けるために宿泊施設を必要とする場合の費用などがかかる可能性があります。	1,000,000 円(がん治療給付金)
	自己負担額合計 90,259 円	受け取り額合計 1,100,000 円

■商品詳細

正式名称	定期療養保険(無配当・無解約返戻金型)	
契約年齢	満 18 歳以上、満 60 歳以下	
給付金	支払事由	支払額
	(1)入院療養給付金	1 泊以上、公的医療保険制度の保険給付の対象となる入院をしたとき (入院中の療養に係る診療報酬点数) × 3 円
	(2)外来療養給付金	入院療養給付金の支払事由に該当する入院の入院前 30 日・退院後 90 日に公的医療保険制度の保険給付の対象となる外来療養(日帰り入院を含む)を受けたとき (外来療養に係る診療報酬点数) × 1.5 円
	(3)がん治療給付金	①責任開始日から 90 日経過した後に、はじめてがん(悪性新生物)と診断確定されたとき ②直前のがん治療給付金の支払事由に該当した日から 1 年経過した後に、がんの治療(手術、放射線治療、抗がん剤治療)を受けたとき 100 万円(1 年に 1 回)
(4)先進医療給付金	先進医療による療養を受けたとき	先進医療に係る技術料と同額
通算支払限度金額	2,000 万円	
保険期間	10 年(最長満 70 歳まで自動更新)	
保険料払込期間	保険期間と同じ	
保険料払込方法(回数)	月払	
保険料払込方法(経路)	口座振替、またはクレジットカード払い	
保険料の払込免除	あり	
解約返戻金	なし	
契約者配当	なし	
特約	なし	

ライフネット生命について URL:<http://www.lifenet-seimei.co.jp/>

ライフネット生命保険は、相互扶助という生命保険の原点に戻り、「正直に経営し、わかりやすく、安くて便利な商品・サービスの提供を追求する」という理念のもとに設立された、インターネットを主な販売チャネルとする新しいスタイルの生命保険会社です。インターネットの活用により、高い価格競争力と 24 時間いつでも申し込み可能な利便性を両立しました。徹底した情報開示やメール・電話・対面での保険相談などを通じて、お客さまに「比較し、理解し、納得して」ご契約いただく透明性の高い生命保険の選び方を推奨し、「生命(いのち)のきずな=ライフネット」を世の中に広げていきたいと考えています。

会社および商品の詳細は <http://www.lifenet-seimei.co.jp/> をご覧ください。

株主・投資家向けの情報は <http://ir.lifenet-seimei.co.jp/> をご覧ください。

本件に関するお問い合わせ先

03-5216-7900

広報: 吉川、関谷

IR: 堅田、近藤

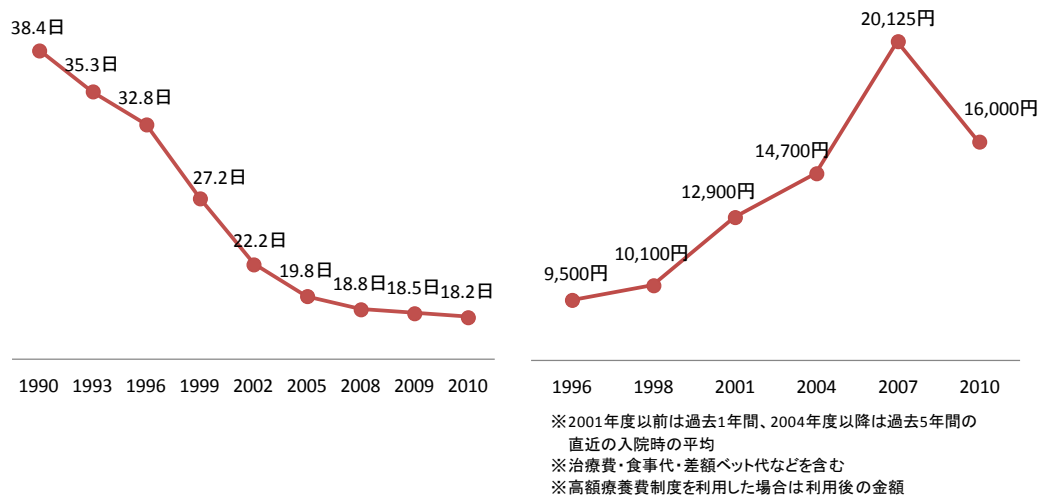
ライフネット生命保険株式会社

参考資料: 当社が考える、わが国の医療と民間医療保険の現状

■【医療の現状①】入院日数が短期化する一方で、入院費用は高額化

わが国では、医療技術の進歩や、国・行政の社会保障政策、さらには医療における患者のQOL(クオリティ・オブ・ライフ)向上の観点等のさまざまな要因により、平均入院日数の短期化が一貫して進んでいます。また、入院1日あたりの自己負担費用は増加傾向にあります(表1)。一方で、民間医療保険では給付金が入院日数に連動するタイプがまだまだ主流であり、医療の現状と給付内容が徐々に乖離してきています。

表1: (左)退院患者の平均在院日数と(右)入院1日あたりの自己負担費用の推移



出所: (左)厚生労働省「病院報告」、(右)生命保険文化センター「生活保障に関する調査」

■【医療の現状②】医療費負担の重い長期入院は一定の確率で発生

平均入院日数が短期化しているものの、重い病気やケガで長期の入院が必要になるケースは一定の確率で発生します。絶対的な発生率こそ低いものの、全入院患者の5.8%が2ヶ月以上、0.7%が6ヶ月以上の長期の入院を余儀なくされており(表2)、医療費負担が長期間発生します。一方で民間医療保険では、1回の入院の支払限度日数「60日・180日」などと制限しており、入院の途中で保障が途切れてしまうことがあります。

表2: 一般病床(病院)における推計退院患者の在院期間

在院期間	患者数	占率	医療保険加入時に入院給付金が支払われるか?	
			支払限度日数「60日」の場合	支払限度日数「180日」の場合
0~14日	719.3千人	67.6%	⇒ 支払われる 94.2%	⇒ 支払われる 99.3%
15日以上~1ヶ月未満	177.4千人	16.7%		
1ヶ月以上~2ヶ月未満	102.7千人	9.7%	⇒ 支払われない 5.8%	⇒ 支払われない 0.7%
2ヶ月以上~6ヶ月未満	54.7千人	5.1%		
6ヶ月以上~1年未満	4.7千人	0.4%		
1年以上	2.7千人	0.3%		
不詳	2.3千人	0.2%		

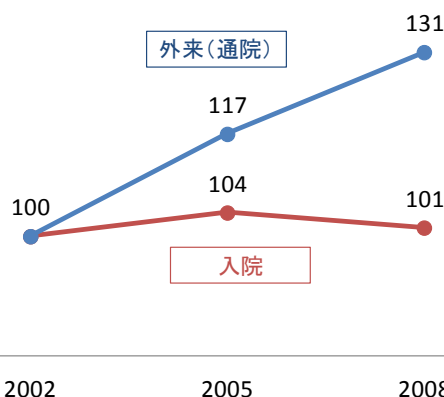
出所: 厚生労働省「患者調査」2008年

■【医療の現状③】入院から通院へシフトするがん治療

わが国では、生涯のうちに約2人に1人が罹患すると推計されており、死亡原因のトップでもある「がん」。かつては「不治の病」といわれたがんも、医療技術の進歩に伴い、昨今では「治る病気」になりつつあります。ただし、長期の闘病生活を伴うことががん治療の特長であり、抗がん剤治療の普及等も手伝って、治療の形態が入院治療から通院治療にシフトしつつあります(表3)。一方で、一般的な民間医療保険は依然として入院に対する保障が中心であり、がん治療の現状にマッチしているとは言えない状況です。

表3: がん治療における入院・外来(通院)患者数の推移

2002年を100としたときの患者数の推移



(単位:千人)

	入院	外来(通院)
2002年	139	120
2005年	145	140
2008年	141	156

出所: 厚生労働省「患者調査」

■【医療の現状④】満70歳以上の高齢者に手厚い公的医療保険制度

わが国の公的医療保険制度は、先進諸外国と比べても非常に充実しており、特に「高額療養費制度の自己負担限度額の減額(満70歳以上)」、「後期高齢者医療制度(満75歳以上)」など、傷病にかかりやすい高齢層の医療費負担に対し入念な配慮がなされています。一方で、民間医療保険は終身タイプが主流であり、年齢や所得を問わず給付額が一定であるため、自己負担額に対する給付額が過剰になるケース(保険利得)が起こり得ます。その結果、場合によっては入院日数の長期化など国民医療費の増加が助長され、社会保障制度全体の安定的な運用を危うくする恐れがあります。

表4: 公的医療保険における医療費の自己負担

	6歳(義務教育就学前)	70歳	75歳	
<医療費自己負担>	2割負担	3割負担	2割負担 (1割負担に凍結中)	1割負担
<自己負担限度額>		高額療養費 (所得区分が一般の場合) $80,100円 + (医療費 - 267,000円) \times 1\%$	高額療養費 (所得区分が一般の場合) $44,400円(外来: 12,000円)$	

出所: 厚生労働省ウェブサイトを基に当社にて作成

■医療の変化に対し、民間医療保険も変化が必要

現在、民間医療保険の多くが提供している保障は、「入院日数に連動」し、「1回の入院の支払限度日数が60日・180日など」の「**終身タイプ**」の商品が主流です。しかし、私たちは、「入院日数の短期化」や「入院費用の高額化」、「入院から通院へのシフト(特にがん治療)」など、医療を取り巻く環境が大きく変化する中では、民間医療保険も変化が必要であると考えます。「今後の民間医療保険のあるべき姿」をライフネット生命が考え抜き、「**入院日数にかかわらず医療費負担に連動**」し、「**がんや先進医療に対する保障**」を備えた「**定期タイプ**」の医療保険を開発しました。

表 5: わが国の医療の現状と民間医療保険のスペック(まとめ)

医療の現状	主流の民間医療保険	「じぶんへの保険プラス」  定期療養保険 定期型 「じぶんへの保険プラス」 (がん・先進医療保障付き)
① 入院日数の短期化と入院費用の高額化	入院日数に連動した給付金	入院日数にかかわらず医療費負担に連動した給付金
② 一定確率で発生する長期入院	1回の入院の支払限度日数あり(60日・180日など)	
③ 入院から通院へシフトするがん治療	入院日数・通院日数に連動した給付金	がんの診断時の一時金 +がん継続治療時の一時金 +入院日数にかかわらず医療費負担に連動した給付金
④ 満70歳以上の高齢者に手厚い公的医療保険制度	終身タイプ	定期タイプ (10年定期/70歳まで更新可)

■入院日数に関係なく、医療費負担に連動するタイプの新しい医療保険

ライフネット生命ではこれまで見てきた状況をすべて鑑み、日頃からお客さまから寄せられる「ライフネット生命らしい、どこにもない商品を作って欲しい」という声にお応えするとともに、「正直に経営し、わかりやすく、安くて便利な保険商品・サービスを提供する」という理念に基づき、入院日数に関係なく、入院中や通院における医療費負担に連動するタイプの定期療養保険を発売することとしました。

表 6: 医療保険における「じぶんへの保険プラス」の位置づけ

		受け取る給付金のタイプ	
		入院日数に連動	医療費負担に連動
保障される期間	定期 (10年など)	旧来から存在する医療保険	「じぶんへの保険プラス」  定期療養保険 定期型 「じぶんへの保険プラス」 (がん・先進医療保障付き)
	終身 (一生涯)	現在主流の医療保険	(存在しない) ※当社調べ(2012年9月)